

教科	保健体育	科目	体 育	単位数	2
学年	1	教科書	最新高等保健体育 改訂版 (大修館)		
学科	全 学 科	副教材	最新高等保健体育ノート 改訂版 (大修館)		

学習目標	①健康の保持増進と体力の向上を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育成します。
	②集団行動の様式と要領を理解し、秩序正しく効率的に行動する能力や態度を育成します。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動を通じて、運動の楽しさや心地よさを味わいます。
	2 選択1 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。
	3 体育理論	・運動やスポーツの意義や歴史を理解します。
2	4 体づくり運動	・体力を高めることの重要性を理解し、計画的に運動を実践していきます。
	5 選択2 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。
	6 体育理論	・スポーツ文化の楽しみ方について理解します。
3	7 陸上競技 (長距離走)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己の能力に応じた課題解決を目指します。
	8 選択2のつづき	・学習段階に応じた作戦を立てたり、工夫することの楽しさや喜びを味わいます。
	9 体育理論	・スポーツと経済について理解します。
課題	①学習活動記録ノートに、目標・計画・評価・反省を記入して提出します。 ②見学者は見学カードに必要な事項を記入して、レポートを作成して提出します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを感じ、自ら進んで運動しようとしているかを評価します。
II 思考・判断・表現	自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題を見だし、その解決に向けて活動の仕方を考え工夫しているかを評価します。
III 運動の技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、技能や体力を高めているかを評価します。
IV 知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方などの基礎的な事項を理解し、知識として身に付いているかを評価します。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点方法)

教科	保健体育	科目	保 健	単位数	1
学年	1	教科書	最新高等保健体育 改訂版 (大修館)		
学科	全学科	副教材	最新高等保健体育ノート 改訂版 (大修館)		

学習目標		①個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。			
		②生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。			
学期	単 元	学習内容・学習のねらい			
1	1 交通事故の現状と要因	・通事故の特徴や要因について理解し、安全な交通社会の方策について考えます。			
	2 交通事故を防ぐために				
	3 応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義や手順を理解し、日常的な応急手当の方法を身につけます。			
	4 日常的な応急手当				
	5 心肺蘇生の原理とおこない方	・心肺蘇生法の原理や手順について理解します。			
	6 健康の考え方と成り立ち	・健康の定義について理解します。			
	7 私たちの健康のすがた	・日本と世界の健康水準について理解します。			
	8 意志決定・行動選択と環境	・ヘルスプロモーションの理念を理解します。			
2	9 生活習慣病とその予防	・生活習慣病について理解し、予防法を考えます。			
	10 食事と健康 11 運動と健康	・食事・運動と健康について理解します。			
	12 喫煙と健康 13 飲酒と健康	・飲酒・喫煙の現状と対策を理解します。			
	14 薬物乱用と健康	・薬物乱用の現状と対策を理解します。			
3	15 感染症とその予防	・現在問題となっている感染症や、エイズの実態とその予防法について理解します。			
	16 性感染症・エイズとその予防				
	17 欲求と適応機制	・心身相関やストレスについて学習し、その対処法を身につけます。			
	18 心身の相関 19 心の健康				
課題	① 予習・復習は、保健ノートを活用して自主的に行います。				
評価の観点		趣 旨			
I	関心・意欲・態度	・日常生活を通じて、自らの健康について高い意識を持ち、健康問題に積極的に取り組む姿勢を評価します。			
II	思考・判断・表現	・健康問題について、その課題を見だし、問題解決に向けて思考・判断できるか評価します。			
III	知識・理解	・社会の変化とそれに伴う健康問題を理解し、基礎的な事項を知識として身に付けているかを評価します。			
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100 点法)				

教科	保健体育	科目	体 育	単位数	2
学年	2	教科書	最新高等保健体育 改訂版 (大修館)		
学科	全 学 科	副教材	最新高等保健体育ノート 改訂版 (大修館)		

学習目標	①健康の保持増進と体力の向上を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育成します。
	②集団行動の様式と要領を理解し、秩序正しく効率的に行動する能力や態度を育成します。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動を通じて、運動の楽しさや心地よさを味わいます。
	2 選択1 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。
	3 体育理論	・スポーツの技術や技能について理解します。
2	4 体づくり運動	・体力を高めることの重要性を理解し、計画的に運動を実践していきます。
	5 選択2 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。
	6 体育理論	・体力トレーニングの基礎理論について理解します。
3	7 陸上競技 (長距離走)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己の能力に応じた課題解決を目指します。
	8 選択2 選択3	・学習段階に応じた作戦を立てたり、工夫することの楽しさや喜びを味わいます。
	9 体育理論	・運動・スポーツにおける安全について理解します。
課題	①学習活動記録ノートに、目標・計画・評価・反省を記入して提出します。 ②見学者は見学カードに必要な事項を記入して、レポートを作成して提出します。	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを感じ、自ら進んで運動しようとしているかを評価します。
II	思考・判断・表現	自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題を見だし、その解決に向けて活動の仕方を考え工夫しているかを評価します。
III	運動の技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、技能や体力を高めているかを評価します。
IV	知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方などの基礎的な事項を理解し、知識として身に付いているかを評価します。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点方法)	

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
学年	第2学年	教科書	最新高等保健体育 改訂版(大修館)		
学科	全学科	副教材	最新高等保健体育ノート 改訂版(大修館)		

学習目標	<p>① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。</p> <p>② 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 思春期と健康 2 性への関心・欲求と性行動 3 妊娠・出産と健康 4 避妊法と人工妊娠中絶 5 結婚生活と健康 6 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> 性的成熟に伴って、心理面・行動面が変化することを理解します。 妊娠・出産の仕組みと避妊方法を学び、健康な健康生活について考えます。 中高年期を健康に過ごすための取り組みについて理解します。
2	7 医薬品とその活用 8 医療サービスとその活用 9 保健サービスとその活用 10 さまざまな保健活動や対策 11 大気汚染と健康 12 水質汚濁、土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品や医療・保健サービスについて学び、その活用方法を理解します。 ヘルスプロモーションに基づく身近な保健活動を学びます。 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染による健康への影響を理解します。
3	13 環境汚染を防ぐ取り組み 14 ごみの処理と上下水道の整備 15 食品の安全を守る活動 16 働くことと健康 17 働く人の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> 環境汚染の実態を学び、その対策について身近な環境を通して理解していきます。 食品の安全を守る考え方と仕組みについて理解します。 働く人の健康を保持増進するための仕組みを理解します。
課題	<p>① 予習・復習は、保健ノートを活用して自主的に行います。</p> <p>② 知識の定着を図るために、小單元ごとに小テストを行います。</p>	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	・日常生活を通じて、自らの健康について高い意識を持ち、健康問題に積極的に取り組む姿勢を評価します。
II	思考・判断・表現	・健康問題について、その課題を見いだし、問題解決に向けて思考・判断できるかを評価します。
III	知識・理解	・社会の変化とそれに伴う健康問題を理解し、基礎的な事項を知識として身に付けているかを評価します。
評価方法	各単元の目標の到達度を、三つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	保健体育	科目	体 育	単位数	3
学年	3	教科書	最新高等保健体育 改訂版 (大修館)		
学科	全 学 科	副教材	最新高等保健体育ノート 改訂版 (大修館)		

学習目標	①健康の保持増進と体力の向上を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育成します。
	②集団行動の様式と要領を理解し、秩序正しく効率的に行動する能力や態度を育成します。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動を通じて、運動の楽しさや心地よさを味わいます。
	2 選択1 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。
	3 体育理論	・豊かなスポーツライフの設計について理解します。
2	4 体づくり運動	・体力を高めることの重要性を理解し、計画的に運動を実践していきます。
	5 選択2 選択3 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。
	6 体育理論	・日本のスポーツ振興について理解します。
3	7 選択3 球技	・学習段階に応じた作戦を立てたり、工夫することの楽しさや喜びを味わいます。
	8 体育理論	・スポーツと環境について理解します。
課題	①学習活動記録ノートに、目標・計画・評価・反省を記入して提出します。 ②見学者は見学カードに必要事項を記入して、レポートを作成して提出します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを感じ、自ら進んで運動しようとしているかを評価します。
II	思考・判断・表現	自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題を見だし、その解決に向けて活動の仕方を考え工夫しているかを評価します。
III	運動の技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、技能や体力を高めているかを評価します。
IV	知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方などの基礎的な事項を理解し、知識として身に付いているかを評価します。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点方法)	